

# 町民参加による地域アーカイブ 『下諏訪町デジタルアルバム』 の運営

---

報告者：平林 美香（長野県下諏訪町立図書館館長）

# 前段 地域新聞のデジタル化

---

○平成24年度(2012年)緊急雇用創出事業補助金を財源にして行う

事業費:5,218,500円

○事業の対象

- ・民声新聞(昭和21年1月1日～昭和32年8月31日)
- ・湖国新聞(昭和32年9月7日～昭和63年12月31日)

○事業の内容

- ・新聞のマイクロフィルム撮影
- ・パソコンに取り込みデジタル化
- ・OCR処理をして検索可能にする

○町民への提供

図書館のインターネット端末で検索を可能にする

# 経過1 城取写真館

---

大正13年(1924年)、先代の城取一二三氏が下諏訪町御田町にて開業

その後城取誠氏が写真館を継ぐ

写真館を閉めるにあたり、図書館に写真を提供してもよい旨の申し出

職員がデジタルアーキビスト講習に参加

平成29年(2017年)

長野県諏訪地域振興局「地域発元気づくり支援金」事業に応募し採用される。

## 経過2 地域資料保存伝承事業

---

事業実施期間：平成29年度（2017年）～令和元年度（2019年）

○平成29年度事業内容    事業費：489,898円

- ・写真デジタル化：428枚（聞き取り情報も含め保存）  
  シルバー人材センターに委託
- ・ワークショップ「写真昔語り」開催
- ・8ミリフィルム9本・16ミリフィルム2本をDVD化

# 経過2 地域資料保存伝承事業

---

○平成30年度事業内容    事業費:434,655円

- ・写真デジタル化: 1,080枚(聞き取り情報も含め保存)  
  ※シルバー人材センターに委託
- ・写真館以外にも個人・旅館・博物館・町広報担当から写真の提供を受けた
- ・16ミリフィルム2本をDVD化、上映
- ・ワークショップ「写真昔語り」開催
- ・図書館内でミニ写真展の開催
- ・宿場街道資料館にて写真展
- ・「下諏訪昔瓦版」制作・配布
- ・博物館の企画へのデータ提供

## 経過2 地域資料保存伝承事業

---

○令和元年度事業内容 事業費:965,669円

- ・写真デジタル化:458枚 説明文等の作成  
※シルバー人材センターに委託
- ・「みんなでつくる下諏訪町デジタルアルバム」ワークショップ(町民向け)
- ・図書館内でミニ写真展の開催
- ・博物館の企画へのデータ提供
- ・令和2年(2020年)3月7日  
「みんなでつくる下諏訪町デジタルアルバム」インターネット公開

○総事業費:1,890,222円 (うち地域発元気づくり支援金:1,422,000円)

# みんなで作る下諏訪町デジタルアルバム

サイトURL: <https://d-commons.net/shimosuwa/>

信州デジタルコモンズプロジェクト  
代表前川氏の協力のもと、  
長野大学学生も参加してサイトの  
作りこみを検討した。



- ・契約金額: 509,259円
- ・準備機材: スキャナー1台、パソコン1台、ハードディスク1台(データバックアップ用)

# みんなで作る下諏訪町デジタルアルバム

- ・資料のダウンロードが可能
- ・ユーザー登録を行えば誰でもデータのアップロードが可能
- ・著作権の表示(CCライセンス)
- ・撮影場所の位置表示
- ・参考文献
- ・詳しい説明文

下駄スケートをする子どもたち



ダウンロード

下駄スケートで滑る小学生、先頭は改良されたスピードの三本刃、後方は最初の二本刃のスケート。この写真の説明は昭和初期としてあるが、「写真いまとむかし(下諏訪町)」には、「大正後期のスケート遊び(矢島式下駄スケート)」と説明されている。また、「下諏訪町町制施工125周年(下諏訪今昔絵巻)」には大正14(1925)年頃と注釈がされている。



# 公開後の図書館の取り組み

---

- ・写真の収集とデジタル化

公開時: 1,500点→現在: 約2,830点(R7.8現在 非公開を含む)

年間事業費: 145,000円

(内訳: システム利用料120,000円 講師謝礼12,000円 消耗品費13,000円)

- ・ミニ写真展の開催

- ・「下諏訪昔瓦版」の制作、配布

- ・デジタルアルバム講習会

- ・ボランティアの募集と育成

- ・関係団体によるパンフレットの作成

- ・小中学校の授業での活用の推進

ご清聴ありがとうございました

---